

子供の歯みがき中の事故に気をつけて！

口の中の衛生を保つために、子供が自分で歯みがきをすることは、毎日の生活習慣を身に着けるために大切なことです。一方で、歯みがき中に転んで歯ブラシで喉を突くなどのけがをする事故が起きています。

子供の歯みがき中の事故を防ぐため、歯みがきの時は以下の点に気をつけましょう。



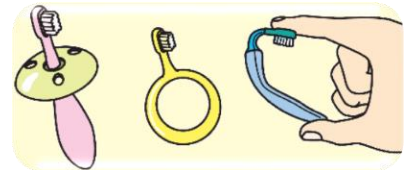
事故、ヒヤリ・ハット事例

- 歯みがき中に動いていてすわっていた椅子から落ち、歯ブラシが刺さりそうになった。(3歳)
- 歯みがき中にふざけて姉とぶつかり、歯ブラシがのどにささって出血した。(2歳)
- 歯ブラシをくわえたまま転倒し、口の中が切れ出血した(1歳)
- ソファから落ちて、くわえていた歯ブラシが喉に刺さりそうになった。(1歳)

※東京くらし WEB 「子供に対する歯ブラシの安全対策」報告書」を参照

事故を防ぐポイント

- 喉突き防止の対策をしている歯ブラシを使いましょう！
 - ・事故の危険性の高い3歳前半までは、喉に突き刺さりにくい歯ブラシや喉の奥に入りにくい歯ブラシを使いましょう。
- 歯みがきを行う場所、生活環境を見直しましょう！
 - ・保護者の見守りの中で、床に座って歯みがきをさせましょう。立っているより座っている状態の方が、転倒時のケガのリスクを低減できます。動きながらや、ソファなど不安定な場所での歯みがきはやめましょう。
 - ・うがいなどで移動するときは、歯ブラシを口にくわえたまま、又は持たせたまま子供を歩かせないようにしましょう。
 - ・保護者が仕上げみがきを使う歯ブラシは、喉突きなどの危険性が高いため、子供に持たせたり、子供の手の届くところに置かないようにしましょう。



◎参考

- ① 《「子供に対する歯ブラシの安全対策」報告書》東京くらし web (平成 29 年 2 月)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kyougikai/h28/05_report.html
- ② 《乳幼児の歯みがき中の喉突き事故に注意！》東京くらし WEB (平成 29 年 3 月)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kyougikai/h28/07_leaflet_toothbrush.html
- ③ 《子供の歯磨き中の喉突き事故などに気を付けましょう！ -6歳以下の子供の事故が多数発生しています-》(独)国民生活センター (平成 29 年 2 月 15 日)
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20170215_1.html

その他の危害危険情報はこちら。

東京くらしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>



問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082